うちの学校紹介します！

その21 津名東小学校

平成30年度
佐野保育園の大楠を囲んで

津名東小学校は、平成三十年に校名を改称し、新しい学校としてスタートを切りました。平成二十一年の生穂第一小と生穂第二小の統合と、平成二十九年の生穂小と佐野小の統合を経てできた学校です。

二度の統合により、津名の奥座敷ともいわれる長沢地区や佐野・興隆寺地区を加え、非常に大きな校区を持つ学校となりました。新しい校歌にも、生穂、佐野、長沢の素晴らしい自然や情景が歌われています。

今、津名東小学校では、それぞれの学校が持っていた素晴らしい伝統と文化を引き継ぎ融合させながら、新しい伝統を生み出そうとしています。また、校区の広がりは、今まで知らなかった地域から通う新しい仲間との出会いをもたらしました。

そこで、本校では、新しい友だちとの仲間づくりや広がった校区でのふるさと教育の充実にも力を入れています。

特に、ふるさと学習では、統合前から全校生による縦割り活動として、「ふるさとオリエンテーリング」を行っていました。統合後は、校区の広がりに合わせて佐野地区、長沢地区、生穂地区を順番に訪ねることにしています。

令和元年度　東山寺山門で

二年前には、初めて佐野地区へ足を運び、旧佐野小学校や公民館、保育園など訪ねて、佐野の自然や様子について学習をしました。途中では、公民館長のお話を聞いたり、佐野保育園の大きな楠をみんなで手をつないで囲んでみたりと、児童が自分の足と目で佐野地区を知る体験ができました。

昨年は、長沢地区を訪問し、秋の野山の様子を観察しながら、東山寺から旧生穂第二小学校を経由して学校まで歩きました。赤く実る柿の実や地面に落ちた栗やドングリを目にしながら、豊かな自然を満喫しました。今年は、生穂地区を訪問するために、計画を進めています。

この行事でそれぞれの地域を訪問できるのは、六年間で二度ずつですが、各学年においてもお店や工場、農業や漁業など、様々な地域学習を行っています。それらの体験を通して、校区の自然や文化に触れ、仲間の絆を深めながら、ふるさとの素晴らしさに気づき、ふるさとを誇りに思える児童の育成をめざしています。

2021（R3）年

市人教5支部合同事業

〝一緒に乗り越えよう〟鈴木凛太朗さんによるピアノ演奏会

2月27日　淡路市サンシャインホール

2021（令和3）年2月27日、淡路市サンシャインホールで、鈴木凛太朗さんによるピアノ演奏と真己子さん（母）の講演が行われます。

淡路市人権教育研究協議会の5支部合同事業として、入場無料で開催予定です。

人権をテーマにした学習会を支援します

人権教育住民学習支援事業

DVD「サラーマット」

淡路市人権教育研究協議会では、「一人ひとりの人権が尊重され、自分らしく活き活きと暮らせる地域づくり」を目的に、市民が主体となって実施する人権学習活動を支援しています。団体やグループの会合などの機会にご利用ください。

本年度は、新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、会合等が中止になっていましたが、DVD学習の開催申し込みが増えてきました。

昨年度購入DVD「サラーマット」の鑑賞も好評です。DVD上映の申し込み等住民学習支援事業については、下記にお問い合わせください。

淡路市市民生活部市民人権課
TEL 0799-64-2521　FAX 0799-64-2528